

第8回各務原市新総合体育館建設基本構想・基本計画策定委員会 議事概要

日 時 令和3年10月19日（火）午前9時～
 場 所 各務原市役所 産業文化センター7階第1会議室
 出席委員 鈴木壯委員長、三井栄副委員長、三村武俊委員、川上進委員、
 小澤次郎委員、田中峰生委員、今尾謙二委員、永田美帆委員、
 苅谷道宏委員
 欠席委員 横山浩之委員

1. 委員長挨拶
2. 議事
 - ①施設の運営方針について
 - ②候補地の選定について

議事録（要旨）

議事 ①施設の運営方針について

資料1 施設運営について

事務局説明	
・施設の運営方針、開館時間及び休館日、提供するサービス、稼働率の想定、可動席の活用状況の想定について説明した。	
主な意見及び質疑応答	
委員	施設の年間利用想定について調査していただいた結果より、イベントの開催が年間最大10日程度想定されるということで、可動席の採算がとれそうだと感じる。
委員	今後は観るスポーツを充実させることが重要だと考えるが、そもそも良い施設でないとプロリーグ等を誘致できないと考える。可動席があれば、イベントの主催者に声をかけやすくなると思う。
委員	市民利用を前提とした上で、今後は観るスポーツが重要になると考える。民間事業者を利用することで、イベントの準備や運営はやりやすくなるのではないかと考える。 また、視察先にて、体育館で大相撲の巡業やプロレスの大会が開催される事例を聞いてびっくりした。そのようなイベントを開催するためには、設計の段階から考えることが重要である。新総合体育館でも、年に何度かプロリーグ等を誘致できれば良いと考える。
委員	施設の稼働率については、ヒアリング結果より、きちんと土日の予約が埋まることが分かった。土日の市民利用に加えて、プロリーグ等を誘致できると良い。また、平日の昼間における稼働率について、事前にコートを用意をしておくという案は、公園にふらっと来た人も利用しやすく

	なるため、良いアイデアだと思う。
委員	調整会議には 20 年以上出ているが、予約の優先順位があり、土日は市民大会レベルでないと予約が取りづらく、抽選も発生している状態である。県・地区大会は優先順位が低く、土日にはなかなか予約が取れない。新総合体育館についても、現在と同様の利用料金であれば、土日は予約が埋まると想定される。 また、今後、学校の部活動は地域スポーツに変わっていくと考えており、学校体育館が使えなくなること、新総合体育館の平日夜間（17～22 時）利用が増えることが想定される。現在の総合体育館においても平日夜間の抽選が発生していることから、新総合体育館も平日夜間の予約が埋まると考えられる。 可動席は、市民大会においては必要ではないが、地区大会～全国大会レベルではセンターコートでの試合もあり、使用することが想定される。利用調整は難しくなると思われるが、年に 10～20 回は使うのではないかと考えられる。可動席がない場合は、設営にさらに日数が必要となり、その分お金もかかるため、可動席が常設されている別会場にしようということになってしまうかもしれない。
委員	学校の部活動は変わりつつあり、チームスポーツに加入している人は減ってきている状態である。また、個人スポーツや文化活動など多様化している。 新総合体育館の機能については、スポーツ利用が基本となるが、平日の稼働率をどのように考えるかが重要である。e スポーツ大会の開催や駐車場でのスケートボード利用等、新たな利用者を取り込み、人が集う場所になれば良いと考える。土日だけにぎわうのではなく、平日についても、少人数でも集いやすくする等、閑散としないようにしたい。 運営方針については、視察先の良い事例をイメージしながら人口差や地域差を考慮して検討していくことが重要である。良い施設があれば、これまでスポーツから離れていた人もやりたくなる可能性もあり、そうしたスポーツをやりたい人を取り込んでいくと良い。 また、多くの市民はプロの試合が見たいと思われることから、プロの試合を実施するために可動席は必須になると考える。
委員	現在、総合体育館の土日休日の利用は予約が満杯であり、平日夜も取りにくいと聞いている。エアコンがあるならさらに予約が集中すると思われる。 新総合体育館において、平日昼間の稼働率を向上させるため、中高年の女性をターゲットに、サブアリーナにてエアロビやダイエットの体操教室を開催してはどうか。また、メインアリーナは、学校で利用してもらうことや利用料金を安くすることを検討してはどうか。運営方針につい

	ては、やわらかい発想で考えていきたい。 可動席を都度設営する場合、設営時間やお金がかかることから、妥当ではないと考える。
委員	現在、総合体育館の平日昼間は高齢者の卓球の利用が盛んである。 各務原市では、高齢者向けのイベントが充実しており、高齢福祉課の体操教室や年 2 回（春・秋）の体力測定等はとても人気がある。平日昼間の教室等について、高齢福祉課から意見を聞いてはどうか。
副委員長	ヒアリング調査より、土日の稼働率については、懸念事項はないと考えられる。平日の稼働率については、主観的に意見が述べられているため、客観的に示す必要がある。例えば、先進的な事例を基に、平日の稼働率が高い施設と低い施設を比較し、運営事業者のどのような工夫が稼働率の向上に繋がっているのかを調査してはどうか。あわせて、そのような工夫を各務原市ではどのくらい実行できるのかを検討していただきたい。 また、可動席については、イベント時の利用料金は 1 日 30 万円程度かかる所があると聞いたことがある。可動席を常設で整備する場合の費用の採算について、先進事例を参考に、可動席利用料金も踏まえて検証していただきたい。 市民の皆様に納得していただくため、客観的なデータを用いて内容を提示していただきたい。
委員長	稼働率については、副委員長の意見を参考に調査していただきたい。 可動席については、費用面での問題はあがあるが、大規模な大会を誘致するためには設置した方が良いと考える。可動席の利用料金も踏まえて検討していただきたい。
事務局	市民の皆様に納得していただくため、事務局としても客観的な根拠は必要であると考えている。 平日昼間の稼働率について、客観的なデータで示すとともに、可動席について、ケーススタディとして可動席利用料金も踏まえて試算を行い、検証した結果を次回の委員会で提示する。

議事 ②候補地の選定について

資料 2 候補地の案について

資料 3 ゾーニング・動線計画について

事務局説明
・ 候補地の抽出、選定基準、比較検討の結果について説明した。 ・ 主な施設配置上の配慮事項、候補地ごとのゾーニング及び動線計画の特徴について説明した。

主な意見及び質疑応答	
委員	それぞれの候補地は何 km も離れているわけではないが、個人的には今のところ建物補償を避けられる B 区域が良いと考える。どこの区域も近くにコンビニがないことが懸念事項となるが、体育館の設置に伴いこれからできるかもしれないし、今後の道路整備等により状況は変わってくると思われる。
委員	中高生の利用を考えると、施設は駅に近い方が良いと考えるが、最も駅に近い A 区域は拡張性が低く、主要道路からのアクセスが悪いことが課題である。B 区域は、主要道路からのアクセス性やスポーツ広場と隣接している点が多く、候補地として妥当であると考え。C 区域は、車の出入りの関係や駅から離れている点が課題である。
委員	建物補償の問題を避けられる B 区域が良いと考える。また、スポーツ広場との一体利用や主要道路からのアクセス性は重要であると考え。
委員	B 区域は、スポーツ広場との一体感がある点や南北・東西の大きな道路に出やすい点が良いと考える。また建物補償が避けられる点も良い。
委員	道路の観点是非常に重要であり、国道 21 号、江南関線ともにアクセス性が高い B 区域が良いと考える。また、スポーツ広場との連携が図りやすい点も良い。
委員	個人的にスポーツ広場前の東西道路を車でよく通行しており、B 区域へのアクセス性の高さはイメージができた。駅からの距離は 800m となっているが、中高生なら苦になる距離ではないと考える。また、スポーツ広場との連携を考えると、B 区域は有意義な場所であると考え。
委員	B 区域が良いと考える。駅からの距離については、800m は歩ける距離だと考えられる。C 区域も良いと思うが、車での移動を考えると国道 21 号からのアクセス性が高い方が良いと考える。
副委員長	比較検討について、客観性がある基準になっているかが重要である。 例えば、徒歩圏内は一般的には 800m、高齢者は 500m と言われているが、資料ではそういった情報が付加されていない。 また、建物補償の有無についても「補償する必要がある」と一言書いてあるだけなので、一軒当たりどのぐらいの費用がかかるのか、数字で示すべきである。 どなたが見ても分かるような比較検討となるよう、補足した方が良いと考える。
委員長	副委員長の意見を参考に、評価項目について補足していただきたい。
事務局	比較検討の評価結果について、より客観性を高めるため、徒歩圏の考え方については注釈で記載させていただく。また、建物補償については、市内における過去の実績より、必要となる金額を整理させていただく。
委員長	B 区域の意向が強いということで、本策定委員会の結論とさせていただき

	たい。また、比較検討資料については、引き続き事務局で客観的事実を整理していただきたい。
--	---

3. その他

（事務局）前回中止となった先進事例の視察について、再度計画をしている。委員の皆様には、ご都合の良い日程で分散して参加していただくことを考えている。

視察結果は、次回の委員会にて、各施設の特徴・工夫点について報告させていただく。

次回の委員会については、12/7（火）9 時からに産業文化センター2階第3会議室にて実施する予定である。